

# これからの横芝光町 No. 7



▲完成予想図立体「校舎イメージ」

明るく落ち着いたきのある

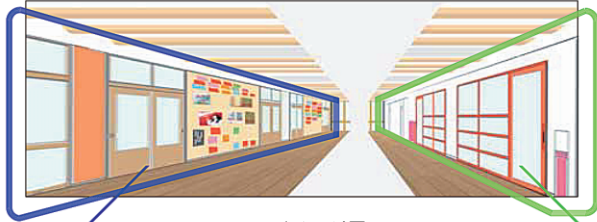
機能的な学舎

用地を最大限に活用した校庭整備と、新しい学習展開にも対応できる機能的な校舎建築を進めています。

## 学習空間（普通教室・少人数学習室）と廊下との関係

新しい横芝中学校校舎は、利便性に配慮した中廊下型のシンプルな構成で建設します。

校舎内は、明るさと落ち着いた環境に配慮し、壁や窓面積を工夫しています。また、新たな教育空間として、少人数学習室(各学年2部屋)が設置されます。



イメージ図

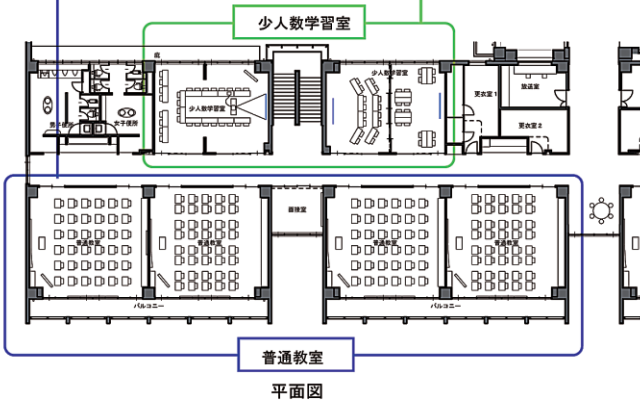
### <普通教室>

全普通教室は南面に配し、明るく落ち着いた雰囲気での学習できる環境となります。クラス毎の掲示スペースを十分確保するため、廊下側の壁面も掲示ボードに活用します。

### <少人数教室>

複数のクラスの生徒が、さまざまな場面で利用しやすくするため、ガラス張りとし、開放的な教室となっています。

教室相互の  
連携



平面図

## 着々と進む建設工事

横芝中学校建設事業は、昨年10月2日の起工式以来現場では順調に工事が進められています。



▲基礎工事

水田であった建設予定地は、調査の結果、堅固な地盤とはいえませんでした。そこで、事前に建設用地の埋め立てを実施しました(平成18年度終了)。埋め立て土圧で建設用地に荷重をかけ、先に沈下を促進させ、また、埋め立ての下層には透水性のよい砂層を敷いて排水性に配慮したうえで、長さ約28メートルの強固な杭を打ち込み建物を支えます。杭打ち工事は、昨年12月までに126本の杭打ちを

終了しました。

現在は、基礎杭の上に地中梁(地中で基礎相互を連結する梁)の工事中です。

建築工事が進むにつれ、徐々に立体的な姿を表し来年3月には完成する予定です。



▶現在の建設現場(2月現在)